

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

0000 0624

秘

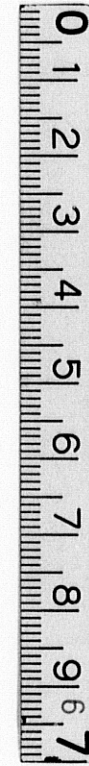
15上

日本製鐵株式會社第十四回營業期

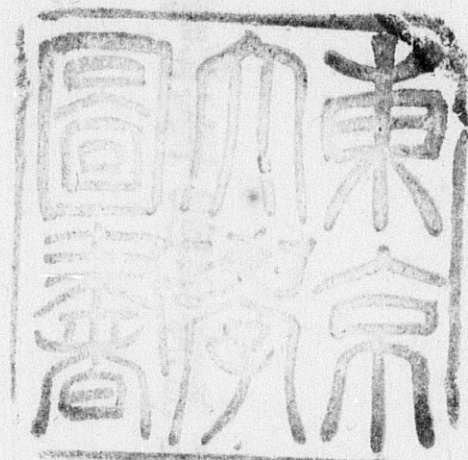
自昭和十五年四月一日起至昭和十五年九月三十日

事業計畫書

66B33N.2
1:1
40(上)



0000 0625



E533852

日本製鐵株式會社第十四回營業期 自昭和十五年四月一日 事業計畫書 至昭和十五年九月三十日

一、起 業

一、諸設備ノ擴張

既定計畫ニ屬スル繼續事業タル生産設備ノ擴張工事ニシテ本營業期ニ於テ尚引續キ施行ヲ要スルモノノ内主要ナルモノヲ摘記スレバ左ノ如シ

擴張計畫 回 次		
第二次	釜石製鉄所	七百瓩熔鉱炉一基關係 鉄鋼一貫設備
第三次	八幡製鉄所	ストリップ工場

熔鉱炉及コークス炉ハ第十一期ニ分塊及銅片、
両工場並平炉三基ハ第十三期ニ大々作業開始
セルモ残余ノ平炉三基及鐵材工場並附帶設備
ハ本期乃至第十六期トナルノ豫定ナリ
工事ハ大体進捗シ「ストリップ」部分中合間
延設備ハ第十三期竣成セルモ殘部並附
屬部分ハ本期乃至第十五期トナルノ豫定ナリ

第三次	輪西新工場	七百瓩熔鉱炉三基關係 鉄鋼一貫設備	熔鉱炉ノ内第一炉ハ第十三期ニ竣成シ第二期ハ本 期末ニ完成スルノ見込ニシテ其ノ他モ極力工事 進行ニ努メ第十六期ニ於テ全部完成スルノ手 定ナリ
第四次	廣畑工場	千瓩熔鉱炉二基關係鉄鋼 一貫設備	熔鉱炉ノ内第一炉ハ第十三期ニ竣成シ第 二炉ハ本期七月ニ完成スルノ見込ニシテ其 他モ極力工事進行ニ努メ第十六期ニ於テ全部完 成スルノ豫定ナリ
第五次	清津工場	五百瓩熔鉱炉二基關係設備	極力工事ノ進行ニ努メツ、アルガ其ノ完 成ハ第十八期トナルノ見込ナリ

而シテ工事ノ進行ニ伴ヒ緊要ナル計畫ノ變更ト諸物價ノ高騰勞力ノ拂底等ノ
爲工事費高シ既定豫算額ニ對シ總額貳千四百八拾五萬八千七百七拾參圓ノ追
加ヲ爲スノ必要アリ 左ニ全擴張計畫ニ於ケル各設備別豫算總額並本期割支
出豫定額及次期以降支出豫定額ヲ掲記シ併テ右ノ追加額及其ノ事由ヲ附記ス

[illegible]

區分	(第一次) 計		(第一次) 製鋼設備 外五廉		(第一次) 富士製鐵所 帶鋼製造設備		(五) 兼二浦製鐵所		(第二次)		三五〇 懸熔鑛炉
	A	B	A	C	A	C	A	B	A	B	
總額	△ 五六、三八一	四八、一七、七二〇	五、二一七、五六八	五、二一七、五六八	一六、三五、八〇一	一六、三五、八〇一	九、五五〇、二九五	九、五五〇、二九五	六、七〇六、一四〇	△ 四、一四、一六	
第十期以前 支出	△ 四、一四、一六	三六、九四、五六一	五、二一七、五六八	五、二一七、五六八	一六、三五、八〇一	一六、三五、八〇一	九、五五〇、二九五	九、五五〇、二九五	六、六九二、七五六	△ 四、一四、一六	
第十期 出	△ 一、三八、五九二	四、七九、七五八					五、四〇、〇〇〇	五、四〇、〇〇〇	一、三三、八四	四、一四、一六	
第十期 業	二、六八、一三四	三、一八、一三四									
第十五期以降 割	三、三三、四、一四七	三、三三、四、一四七									
備考											

區分	(第一次) 燒結工場 外四廉		(三) 釜石製鐵所		(第二次) 製鉄製品(貫) 設備増設		(四) 南桜橋築設機		三
	A	C	A	B	A	C	A	B	
總額	七、一六〇、五六一	二八、九、〇六六	五、三、四、五、一六九	△ 五六、三八一	四六、四、六、六〇一	四六、四、六、六〇一	一、八、一七、五〇〇	△ 五六、三八一	
第十期以前 支出	七、一三三、一二八	二八、九、〇六六	四、六、八、六、六、二九	△ 四、一四、一六	三、九、八、三、一、一五	△ 四、一四、一六	一、八、一七、五〇〇	△ 四、一四、一六	
第十期 出			六、〇、八、五、四、五〇	△ 一、二八、五、六、九二	六、〇、八、五、四、五〇	四、七、九、七、五八		△ 一、二八、五、六、九二	
第十期 業			五、〇〇、〇〇〇	二、六八、一三四	五、〇〇、〇〇〇	三、一八、一三四		二、六八、一三四	
第十五期以降 割				三、三三、四、一四七		三、三三、四、一四七		三、三三、四、一四七	
備考									

(九) 清津工場			合 計			第一次分			第二次分		
區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考	區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考
第十一期以前 〇・八五五・五〇〇	一、五六三、九六八	△一、五六四、〇〇〇	△六、六〇四、四五二	第六、六〇四、四八四		區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考
	一〇、四五一、五四〇	一〇、四〇〇、二六〇	一五、九三七、四九	三九、二六六、七三九		區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考
	八〇、四五一、五四〇	一〇、四〇〇、二六〇	一五、九三七、四九	三九、二六六、七三九		區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考
	六四八、二六六、六〇六	二一〇、六九二、一七五	一九三、五五九、六七九			區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考
	二四、八五八、七七三	△一二〇、五九三、二二	八二、三三〇、一〇四			區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考
	六七三、〇七五、三七九	九二、〇八一、四六〇	九五、五七四、六八	一六七、三三三、二四三		區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考
	五三、五八五、七七五					區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考
	五三、五八五、七七五					區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考
	五三、五八五、七七五					區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考
	九一、四一二、三〇一	六二、〇六、一五二	五〇、〇〇、〇〇〇			區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考
	一四七、五一五	△八七四、一六四	二六、八、一二四	三、三、三、四、一四十		區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考
	九一、五五九、八五八	五、三三三、九八八	三、一一八、一二四	三、三、三、四、一四十		區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考
	一八九、八四四、七二八	四二、七六八、六四	四六、二〇八、〇八九			區 分	總 額	支 出	業 業	期 割	備 考

第五次分			第四次分			内譯 第三次分	
C	B	A	C	B	A	C	B
八〇、四五、五〇		八〇、四五、五〇	二五、八七、二八	一三、九五、二〇五八	二五、八七、二八	二〇、一六、三、九二八	一、一七、五九、二〇〇
一四、八八、六一二二	一五、六三、九六八	一三、三三、一、五五〇	一八、七五、一、八八一	△二、七七、九七八	九一、五〇、三、五九	八二、三三、六八三	△一、八五、四〇、九二
一〇、四〇、一、二六〇	△一、一五、六四、〇〇〇	一一、九六、五、二六〇	三三、七六、七、六七三	△一五、九四、三、二六	四九、七三、〇、八九九	四一、五六、〇、五九	△一、三三、八、三二五
一五、九三、七、四九	△六、六六、六〇、四、五二	五五、一六、四、一、二六	四〇、五六、九、〇八一	△一〇、二〇、五九、七四	九一、六八、七、四六四	三五、九四、九、九四	二、二九、三、八〇
三九、三六、七、九	六六、〇四、四		八二、七九、一、六四五	四一、八七、九、三六		四一、七九、七、二	二九、四三、三、七

ニ 改良補充

(一) 特別改良補充費

(1) 新規事項

八幡製鐵所

東田第十コークス炉建造

東田第九コークス炉ノ代換トシテ建設セル洞岡第六コークス炉ハ昭和十四年八月ヨリ作業開始セルモ之レト相俟テ洞岡第一コークス炉ノ改造ニ取掛リ第十六期末ニ於テ完成セシメ同時ニ東田第九コークス炉ヲ休止スルノ豫定ナリ

而シテ第十八期末ニ至レバ洞岡第二コークス炉ハ作業開始後十年餘ヲ經過シ作業ノ用ニ堪ヘサル見込ニシテコークス需給上代換設備ヲ必要トスル處ニシテ受給熔鑪トノ地理的關係ヲ考慮シ東田ソルベー式コークス炉ヲ取除キタル場所ニ建設シ以テ運搬ノ圓滑移送費ノ節減及粉コークス發生量ノ低下ヲ計ラムトスルモノニシテ左記豫算ニテ本期ヨリ着手

六

シ第十八期ニ完成セシメムトス

名	稱	總額	支出 第十四期	業期別 第十五期以降
コークス炉	七〇基	九、〇〇〇、〇〇〇 _円	二〇〇、〇〇〇	八、八〇〇、〇〇〇 _円
副産物設備		一、一二九、〇〇〇	一五、〇〇〇	一、一一四、〇〇〇
ガス配給設備移轉並整理		三五〇、〇〇〇	五、〇〇〇	三四五、〇〇〇
計		一〇、四七九、〇〇〇	二二〇、〇〇〇	一〇、二五九、〇〇〇

八幡製鐵所
耐火煉瓦増産改造設備

本所ニ於ケル現擴張改良計画完成後ノ各種耐火煉瓦ノ所要量ハ其ノ生産能力ニ對シ左記ノ通不足ヲ生ズ

品名	所要量	生産能力	不足量
珪石煉瓦	年 八二、八〇〇 屯	五四、〇〇〇 屯	二八、八〇〇 屯
粘土煉瓦	七五、八〇〇	四五、〇〇〇	三〇、八〇〇
マグネシヤ及 クローム煉瓦	一八、八〇〇	一三、二〇〇	五、六〇〇
計	一七七、四〇〇	一一二、二〇〇	六五、二〇〇

依テ此ノ不足量ヲ補フタメ現設備ノ擴充並改造ヲ行フ。

尚前記ノ外電氣炉鋼其ノ他高級鋼製造用高級電熔煉瓦ハ現在試験的設備ヲ

七

以テ製造シ極メテ好成績ヲ得ツ、アルモ其ノ生産ハ需要ニ遠ク及バズ依テ之ヲ實作業ニ移シ其ノ需要年約一、二〇〇 吨ヲ充足セシムル爲左記豫算ヲ以テ本期ニ於テ所要機械類ノ購入契約ヲ締結スルト共ニ一部工事ニ着手シ第二十二期ニ完成セシメントス

	總額	支出營業期 第十四期	第十五期以降
珪石煉瓦増産改造設備	一、一七〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一、〇七〇、〇〇〇
粘土煉瓦	二、二二〇、〇〇〇	〃	二、二二〇、〇〇〇
マグネシヤ煉瓦	五九〇、〇〇〇	〃	五九〇、〇〇〇
電熔煉瓦製造設備	一七〇、〇〇〇	〃	一七〇、〇〇〇
共通設備	四五〇、〇〇〇	〃	四五〇、〇〇〇
計	四、六〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	四、五〇〇、〇〇〇

(2) 前期ヨリ繼續事項

左ニ掲グル諸工事ハ前期以前ニ着手シ本期ニ於テ尚繼續施行ヲ要スルモノナリ

區分	總額	前十二期以前 Cハ支出額	第十二期以前 Cハ支出額	第十三期	第十四期	第十五期以降	備考
(一) 八幡製鐵所							
A 増減額	七三、〇三四、五九一	二四、四七六、四七六	一三、八二一、二七六	三五、七四六、〇六八			
B 増減額	一三三、六二五	七、三二一、五四	△六、七六六、七二七	八〇、三二五、六六			
C 改定額	七三、一五八、二一六	一六、〇四二、四七八	二〇、一三三、八二〇	七、七五三、四六〇	三九、一三八、四五八		
電力設備							
A	五四、一六八、四二二	四七、七六八、四二二	六四、〇〇〇				
B		△三、四三八、四九二	二四、三八、四九二				
C	五四、一六八、四二二	四四、三八、四九二	三〇、七八、四九二				
代換コークス炉建造							
A	四、二六〇、〇〇〇	四、二六〇、〇〇〇					
B	一一、五四八	△四、四九一、四九一	四、五二、〇三九				
C	四、二七二、九四八	三、八二〇、九〇九	四、五二、〇三九				

區分	總額	前十二期以前 Cハ支出額	第十二期以前 Cハ支出額	第十三期	第十四期	第十五期以降	備考
船舶補充							
A	一、九五〇、〇〇〇	一、九五〇、〇〇〇					
B	三三、七二七	三三、七二七					
C	一、九七三、七二七	一、九七三、七二七					
外輪工場改造							
A	六、七二八、〇〇〇	八、五九一、八〇〇	五、三二五、五〇〇	五、三二五、七〇〇			
B		△八、〇九一、五一九	八、〇九一、五一九	△一、二二二、五〇〇	一、二二二、五〇〇		
C	六、七二八、〇〇〇	五、〇二八、一	一、三四五、〇一九	三、〇〇一、〇〇〇	五、〇三五、六〇〇		
珪素鋼板工場増設							
A	一、二七〇、〇〇〇	一、二七〇、〇〇〇					
B		△五、三〇、五五七	五、三〇、五五七				
C	一、二七〇、〇〇〇	七、三九、四四三	五、三〇、五五七				
電気炉増設							
A	一、〇二九、〇〇〇	六、九四、二〇〇	一、八七、八〇〇	一、四七、〇〇〇			
B		△二、七八、五七〇	二、七八、五七〇				
C	一、〇二九、〇〇〇	三、一六、六七〇	二、二五、二三〇				

備考	區分	總額	支出					増額事由	増額事由
			第十一期	第十二期	第十三期	第十四期	第十五期以降		
	航空機用材料製造設備	三、三三〇、〇〇〇	三、三三〇、〇〇〇	三、三三〇、〇〇〇	三、三三〇、〇〇〇	三、三三〇、〇〇〇	三、三三〇、〇〇〇	増額事由	増額事由
	蟬丸鋼増産設備	二、三三三、〇〇〇	二、三三三、〇〇〇	二、三三三、〇〇〇	二、三三三、〇〇〇	二、三三三、〇〇〇	二、三三三、〇〇〇	増額事由	増額事由
	炭鋼板工場新設及電気炉増設	七、九三五〇	七、九三五〇	七、九三五〇	七、九三五〇	七、九三五〇	七、九三五〇	増額事由	増額事由
		二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	増額事由	増額事由
		二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	増額事由	増額事由
		二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	増額事由	増額事由
		二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	増額事由	増額事由
		二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	増額事由	増額事由
		二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	二、八〇四、五二〇	増額事由	増額事由

九

受電設備増設	發電機設置	豫備「タービン」	工作工場建設	粉「コークス、ガス」發生設備新設	備考
五、六八、三九五	七、二〇〇、〇〇〇	四、三三、二四六	六、七四、五七二	八、九五、九九〇	四、一五、六三〇
五、六八、三九五	七、二〇〇、〇〇〇	四、三三、二四六	六、七四、五七二	八、九五、九九〇	四、一五、六三〇
五、六八、三九五	七、二〇〇、〇〇〇	四、三三、二四六	六、七四、五七二	八、九五、九九〇	四、一五、六三〇
五、六八、三九五	七、二〇〇、〇〇〇	四、三三、二四六	六、七四、五七二	八、九五、九九〇	四、一五、六三〇
五、六八、三九五	七、二〇〇、〇〇〇	四、三三、二四六	六、七四、五七二	八、九五、九九〇	四、一五、六三〇
五、六八、三九五	七、二〇〇、〇〇〇	四、三三、二四六	六、七四、五七二	八、九五、九九〇	四、一五、六三〇
五、六八、三九五	七、二〇〇、〇〇〇	四、三三、二四六	六、七四、五七二	八、九五、九九〇	四、一五、六三〇
五、六八、三九五	七、二〇〇、〇〇〇	四、三三、二四六	六、七四、五七二	八、九五、九九〇	四、一五、六三〇
五、六八、三九五	七、二〇〇、〇〇〇	四、三三、二四六	六、七四、五七二	八、九五、九九〇	四、一五、六三〇
五、六八、三九五	七、二〇〇、〇〇〇	四、三三、二四六	六、七四、五七二	八、九五、九九〇	四、一五、六三〇

9

第一コークス炉改造			五、〇〇〇也級貨物船建造			戸畑鍛鋼工場新設			鋼球素材製造設備		
A	C	B	A	C	B	A	C	B	A	C	B
三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	五、五五〇、〇〇〇	五、五五〇、〇〇〇	五、五五〇、〇〇〇	五、九五四、〇〇〇	五、九五四、〇〇〇	五、九五四、〇〇〇	三、一八〇、〇〇六	三、一八〇、〇〇六	三、一八〇、〇〇六
△ 五、四八六、四	△ 五、四八六、四	△ 五、四八六、四	△ 一、五〇〇、〇〇〇	△ 一、五〇〇、〇〇〇	△ 一、五〇〇、〇〇〇	△ 九四九、一三二	△ 九四九、一三二	△ 九四九、一三二	△ 三、八八、五〇八	△ 三、八八、五〇八	△ 三、八八、五〇八
五、四八六、四	五、四八六、四	五、四八六、四	〇	〇	〇	二、七九、一三二	二、七九、一三二	二、七九、一三二	二、一八八、一四	二、一八八、一四	二、一八八、一四
△ 三、〇一、〇〇〇	△ 三、〇一、〇〇〇	△ 三、〇一、〇〇〇	△ 一、〇〇〇、〇〇〇	△ 一、〇〇〇、〇〇〇	△ 一、〇〇〇、〇〇〇	△ 七九七、一〇〇	△ 七九七、一〇〇	△ 七九七、一〇〇	△ 一、〇一、二〇〇	△ 一、〇一、二〇〇	△ 一、〇一、二〇〇
三、〇一、〇〇〇	三、〇一、〇〇〇	三、〇一、〇〇〇	四、〇五〇、〇〇〇	四、〇五〇、〇〇〇	四、〇五〇、〇〇〇	七九七、一〇〇	七九七、一〇〇	七九七、一〇〇	七、二七、〇〇〇	七、二七、〇〇〇	七、二七、〇〇〇
三、〇一、〇〇〇	三、〇一、〇〇〇	三、〇一、〇〇〇	〇	〇	〇	四、六四九、〇〇〇	四、六四九、〇〇〇	四、六四九、〇〇〇	二、六八七、〇〇〇	二、六八七、〇〇〇	二、六八七、〇〇〇

戸畑鍛鋼工場新設			鍛造工場新設			鑄鋼工場移轉擴充			(二) 輪西製鐵所		
A	C	B	A	C	B	A	C	B	A	C	B
三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	五、〇五三、八八八	五、〇五三、八八八	五、〇五三、八八八	三、五〇一、〇〇〇	三、五〇一、〇〇〇	三、五〇一、〇〇〇
△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三
三、〇五三、一三三	三、〇五三、一三三	三、〇五三、一三三	三、〇五三、一三三	三、〇五三、一三三	三、〇五三、一三三	〇	〇	〇	〇	〇	〇
△ 五、〇五三、一三三	△ 五、〇五三、一三三	△ 五、〇五三、一三三	△ 五、〇五三、一三三	△ 五、〇五三、一三三	△ 五、〇五三、一三三	△ 四、七三三、五〇〇	△ 四、七三三、五〇〇	△ 四、七三三、五〇〇	△ 三、九七五、七二〇	△ 三、九七五、七二〇	△ 三、九七五、七二〇
五、〇五三、一三三	五、〇五三、一三三	五、〇五三、一三三	五、〇五三、一三三	五、〇五三、一三三	五、〇五三、一三三	〇	〇	〇	〇	〇	〇
△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 三、〇五三、一三三	△ 四、七三三、五〇〇	△ 四、七三三、五〇〇	△ 四、七三三、五〇〇	△ 三、九七五、七二〇	△ 三、九七五、七二〇	△ 三、九七五、七二〇
三、〇五三、一三三	三、〇五三、一三三	三、〇五三、一三三	三、〇五三、一三三	三、〇五三、一三三	三、〇五三、一三三	〇	〇	〇	〇	〇	〇

合 計			浚 渫 船			越級鑛石運搬船			(五) 本 店			區 分	總 額	支 出	備 考
C	B	A	C	B	A	C	B	A	C	B	A				
一〇、五六〇、二一六	六、一三六、二五	九五、四三六、五九一	三、一〇〇、〇〇〇		三、一〇〇、〇〇〇	一、一七五、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	五、七五〇、〇〇〇	一四、八五〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	八、八五〇、〇〇〇				
二〇、三三五、〇九六	△一〇、三三八、三五	三〇、五四三、三七										第一期中以前 Cハ支出額			
二六、九五五、五〇二	△八、五三三、二七	一八、一〇三、二六五	一〇、〇〇〇、〇〇〇		一〇、〇〇〇、〇〇〇	一、一五〇、〇〇〇		一、一五〇、〇〇〇	二、一九〇、〇〇〇		二、一九〇、〇〇〇	第十三期			
一、二八四、三六三	△六、三三三、〇三四	四六、七八九、九七九	三、〇〇〇、〇〇〇		三、〇〇〇、〇〇〇	二、九二五、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	四、六〇〇、〇〇〇	三、二二五、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	六、六六〇、〇〇〇	第十四期			
四、一五三、五九五	一三、九二一、六七三		一、一六六、〇〇〇			七、六七五、〇〇〇	四、八〇〇、〇〇〇		九、四三五、〇〇〇	四、八〇〇、〇〇〇		第十五期以降			
						二、五五〇、〇〇〇	二、五五〇、〇〇〇	増殖事由							
								二、五五〇、〇〇〇							

鑛滓捨場築設			受電設備新設			(四) 兼三浦製鐵所			(三) 釜石製鐵所 彈丸鋼製造設備			區 分	總 額	支 出	備 考
C	B	A	C	B	A	C	B	A	C	B	A				
一、三〇〇、〇〇〇						三、一〇六、〇〇〇			六、九四五、〇〇〇						
									二、四八四、三〇〇						
						一、八八三			九、二一〇、六二						
一、五六、〇〇〇	△一四、一〇八、九	二九七、〇八九	四、五〇〇、〇〇〇		五〇、〇〇〇	五、七、〇〇〇			三、三〇六、七六二						
三、三三、六〇〇	△八、九〇〇	一、〇〇二、九一一	六、二〇〇、〇〇〇		一、三〇六、〇〇〇	三、八五、〇〇〇			一、四七九、五八三						
八、二〇、四〇〇	一四九、九八九		一、三三、二七			二、四七、五二七			七、五、〇〇〇						
									二、〇七五、〇〇〇						

(二) 一般改良補充費

既設々備ノ一般の改良及補充ニ對シ支出ヲ要スル金額ハ左ノ如シ

	第十四期	第十五期以降
八幡製鐵所	三、五三二、七〇一 _円	一、一九七〇、八六七 _円
輪西製鐵所	九四八、〇九一	一、三五一、九九九
釜石製鐵所	一、四一〇、七〇〇	二、三〇八、五〇〇
富士製鋼所	三二四、二四八	一、二二一、九〇〇
大坂製鐵所	一六九、〇〇〇	二五三、〇〇〇
廣畑製鐵所	三、五〇〇	。
兼二浦製鐵所	一、五四五、五四二	四、一八四、六四八
本店	六一、三五〇	。
計	七、九九五、一三二	二〇、一八九、九一四

以上起業費豫算ノ總計左ノ如シ

施行箇所別	擴充計畫		特別改良補充		一般改良補充		總計
	第十四期	第十五期以降	第十四期	第十五期以降	第十四期	第十五期以降	
八幡製鐵所	二六,〇〇〇	六四,〇〇三	七七,五〇六	二九,三三八	三五,三七〇	一一,九〇八	一八,六六一
輪西製鐵所	〇	〇	〇	〇	九四,八〇九	一五,五九九	九四,八〇九
釜石製鐵所	三,一八,一二四	三,三三,四一七	一四,九八三	七五,〇〇〇	一四,〇七〇	二,三〇八	六,〇〇八
富士製鐵所	〇	〇	〇	〇	三三,二四八	一一,九〇〇	三三,二四八
大坂製鐵所	〇	〇	〇	〇	一六,九〇〇	二五,三〇〇	一六,九〇〇
廣畑製鐵所	〇	〇	〇	〇	三五〇〇	〇	三五〇〇
兼二浦製鐵所	〇	〇	三八,五六〇	二一,四七五	一五,四五二	四,八四八	一八,三一二
本店	三,五七八,一三四	三,九五四,一七八	一三,一六三,六四三	五九,九四九	七九,九五三	二〇,一八九	三,四五六,八九九
計	三,五七八,一三四	三,九五四,一七八	一三,一六三,六四三	五九,九四九	七九,九五三	二〇,一八九	三,四五六,八九九

施行箇所別	擴充計畫		特別改良補充		一般改良補充		總計
	第十四期	第十五期以降	第十四期	第十五期以降	第十四期	第十五期以降	
輪西新工場	三五,六九九	四一,三九六	〇	〇	〇	〇	三五,六九九
廣畑工場	四〇,五九〇	二七,九一六	〇	〇	〇	〇	四〇,五九〇
清津工場	一五,九七四	三九,二六七	〇	〇	〇	〇	一五,九七四
計	九一,二六三	一〇八,五六一	〇	〇	〇	〇	九一,二六三
合計	九一,二六三	一〇八,五六一	一三,一六三,六四三	五九,九四九	七九,九五三	二〇,一八九	三,四五六,八九九

追記

前記起業計畫ニ属スル豫算額ノ内其ノ支出額ガ後期ニ當ルモノニ付テハ各營業期毎ニ之ガ再査ヲ爲シ適當ニ算定シテ其ノ都度更ニ當該營業期ノ事業計畫書ニ掲出シテ共ニ認可ノ申請ヲ爲スベシト雖モ起業計畫ニ属スル設備中器具機械類及特別製作品ニ在リテハ其ノ製作ニ數月、永キハ年餘ヲ要スルモノ尠カラズ之等ノモノニシテ第十五期以降ニ於テ据付ヲ要スルモノニ付テハ豫メ本期ニ於テ其ノ製作ノ注文ヲ發スルニアラズムバ當該計畫ヲ遂行スル能ハザルニ至ルヲ以テ左記金額ノ範圍内ニ於テ後營業期ノ負擔ニ属スル契約ヲ本營業期内ニ締結シ得ベキヲ豫メ認可シ置カレタク併セテ茲ニ申請ス

第十五回營業期分

二、〇〇〇、〇〇〇圓

第十六回營業期分

三、〇〇〇、〇〇〇圓

第十七回營業期分

三、〇〇〇、〇〇〇圓

一四

第十八回營業期分

二、〇〇〇、〇〇〇圓

二 作 業

本營業期ニ於ケル各作業所別豫定数量左ノ如シ

作業所名

品名

本營業期見込

前營業期豫定

比較増減(増減率)

八幡製鐵所

銑

鉄

九〇九、〇〇〇 九〇〇、〇〇〇 九、〇〇〇

自

所用

八七二、一八〇 九〇〇、〇〇〇 二七、八二〇

外

賣

三六、八二〇 〇 三六、八二〇

鋼

塊

一、二八二、六〇〇 一、四〇六、二五〇 一、一二三、六五〇

自

所用

一、二八二、六〇〇 一、四〇六、二五〇 一、一二三、六五〇

鋼

材

一、〇七九、五七七 一、〇九二、五九九 二九、六八二

富士製鋼所向

賣

一、〇六七、五七七 一、〇九二、五九九 二九、五八二

外

賣

二五五、五二〇 二五五、五二〇 六八〇

輪西製鐵所

銑

鉄

二五五、五二〇 二五五、五二〇 六八〇

釜石製鐵所

銑

鉄

二五一、二〇〇 二五〇、五二〇 六八〇

外

賣

一八八、〇〇〇 二二〇、一七〇 三一、一七〇

自

所用

一三〇、八二〇 一六九、五四〇 三八、七二〇

富士製鋼所向

賣

一五、一一〇 一五、一一〇 一五、一一〇

外

賣

三五、五二〇 三五、五二〇 二二、六六〇

鋼

塊

一八〇、〇〇〇 二六一、〇〇〇 八一、〇〇〇

自

所用

一三七、三〇〇 一六七、八二〇 三〇、五二〇

八幡製鐵所向

賣

一二、七〇〇 五五、一八〇 四二、四八〇

外

賣

三〇、〇〇〇 三八、〇〇〇 八、〇〇〇

鋼

材

一一四、九八〇 一三九、二〇〇 二四、二二〇

外

賣

一一四、九八〇 一三九、二〇〇 二四、二二〇

兼三浦製鐵所									
鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼
自	自	自	自	自	自	自	自	自	自
所	所	所	所	所	所	所	所	所	所
用	用	用	用	用	用	用	用	用	用
八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向
一、八〇〇	五八、二〇〇	六〇、〇〇〇	六〇、二九〇	五、〇〇〇	三、〇〇〇	五〇、八三〇	一一九、一二〇	一二八、二三〇	四六、五〇〇
一、三八〇	五四、一二〇	五五、五〇〇	一一四、〇〇〇	五、〇〇〇	二、九九〇	三七、五六〇	一五九、五五〇	五六、二〇〇	五二、七〇〇
四、二〇〇	四、〇八〇	四、五〇〇	五三、七一〇	〇	一〇	一三、二七〇	四〇、四三〇	七二、〇三〇	六、二〇〇

富士製鐵所									
鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼
自	自	自	自	自	自	自	自	自	自
所	所	所	所	所	所	所	所	所	所
用	用	用	用	用	用	用	用	用	用
八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向	八幡製鐵所向
二八、三五〇	二八、三五〇	三六、六〇〇	三六、六〇〇	〇	九二、〇〇〇	八二、五二〇	八二、五二〇	八、〇〇〇	一九八、二〇〇
三二、〇〇〇	二二、八六〇	三一、八〇〇	三一、八〇〇	九、一四〇	一一五、五〇〇	八五、〇〇〇	八五、〇〇〇	一二、〇〇〇	一一八、九〇〇
三、六五〇	五、四九〇	四、八〇〇	四、八〇〇	九、一四〇	一五、五〇〇	二、四八〇	二、四八〇	四、〇〇〇	七九、三〇〇

計

鋼		鋼		鉄		鋼	
外	社	外	社	外	社	外	社
賣	用	賣	用	賣	用	賣	用
一、三四九、三一七	一、二、〇〇〇	一、三六一、三一七	三、八〇〇	一、六五〇、九五〇	五、三四、七二〇	一、一三六、八〇〇	一、六七一、五二〇
一、三九七、五五九	一、二、一〇〇	一、四〇九、六五九	五〇、〇〇〇	一、八七〇、二五〇	四、五六、二四〇	一、一九七、九〇〇	一、六五四、一四〇
△ 四八、二四二	△ 一〇〇	△ 四八、三四二	△ 一、二、〇〇〇	△ 二〇七、三〇〇	△ 二一九、三〇〇	△ 六一、一〇〇	一、七、三八〇
							三、二四〇
							三、二四〇

一七

三、金 融

本營業期ニ於ケル作業收支ノ状況ハ生産費ニ於テ前期ヨリ相當多額ノ昂騰アリテ作業收益ノ減少免カレズ依テ既定計畫及新規所要ニ係ル起業費ノ支出ヲ努メテ減少セシメタルモ投資及次期持越原料購入等ノ増加ヲ考慮セハ約壹億六千百萬圓ノ資金不足ヲ呈スルノ計算ナルニ依リ未拂込ニカ、ル増資新株第三回拂込金叁千五百餘萬圓ヲ徴收シ、差引不足約壹億貳千六百萬圓ニ對シテハ本期中事業進捗ノ實績ニ鑑ミ必然ノ不足ヲ認メタル時ハ金融界ノ狀勢ニ應ジ當面ノ必要額ヲ取引銀行ヨリ短期融通ヲ受クルカ或ハ社債募集ヲ為スカ敦レカ適當ノ方法ヲ採ルベシト雖本事業計畫ニ於テハ一應要急施設等ニ對スル所要資金ヲ見込ミ壹億叁千萬圓ノ社債募集ヲ為スコトトシ置キタリ、

曩ニ大藏省ヨリ借入レタル預金部資金前期末現在額叁千貳百萬圓ハ其ノ儘本期ニ持越スモ本期内ニハ其ノ返還期限ニ達セザルナリ、

四 販 賣

本營業期ニ於ケル鐵鋼ノ販賣見込左ノ如シ

品 種 別	本營業期見込	前營業期見込	比較増減(△印ハ減ヲ示ス)
銑 鉄	五三四、七二〇 屯	四五六、二四〇 屯	七八、四八〇 屯
鋼 塊	三八、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一二、〇〇〇
鋼 片及シートバー	一三七、七二〇	一五三、〇〇〇	一五、二八〇
鋼 材	一、二一一、五九七	一、二四四、五五九	三二、九六二
重 軌 條	一三八、六〇〇	一五六、〇〇〇	一七、四〇〇
大 形 條 鋼	一八八、四〇〇	一八八、四〇〇	〇
鋼 矢 板	六、〇〇〇	一五、六〇〇	九、六〇〇
輕 軌 條	四〇、〇八〇	三四、八〇〇	五、二八〇
中 形 條 鋼	一九四、〇五〇	一八九、八九〇	四、一六〇
小 形 條 鋼	一五五、二七〇	一六七、四三〇	一二、一六〇

一九

線 材	五五、二六〇	五五、八〇〇	△	五四〇
鍛 鋼	一七、一〇〇	一八、三〇〇	△	一、二〇〇
特 殊 鋼 製 品	一一、六三七	六、一一九	△	五、五一八
外 輪	三、六〇〇	五、七〇〇	△	二、一〇〇
厚 鋼 板	二二八、五〇〇	二二七、〇〇〇	△	一、五〇〇
ユニバーサル平鋼	六、〇〇〇	三、〇〇〇	△	三、〇〇〇
中 鋼 板	四六、五〇〇	五二、五〇〇	△	六、〇〇〇
薄 鋼 板	三、九〇〇	七、二〇〇	△	三、三〇〇
珪 素 鋼 板	二七、〇〇〇	二四、三〇〇	△	二、七〇〇
ブリキ	六〇、〇〇〇	六三、〇〇〇	△	三、〇〇〇
仕 上 鋼 板	一五、三〇〇	一九、六二〇	△	四、三二〇
帶 鋼	一四、四〇〇	九、九〇〇	△	四、五〇〇

五、損 益

本営業期ニ於ケル利益見込左ノ如シ

一、総 益 金 三五二、七八三、^{一七}四〇九圓

一、総 損 金 三一三、四八五、^{一三}九六五圓

差引利益 四〇、二九七、〇四三圓

減價償却控除 二七、七〇二、〇三四圓

再差引純益金 一二、五九五、〇〇九圓

右純益金ノ處分見込左ノ如シ

法定積立金(純益金ノ百分ノ五) 六三〇、〇〇〇圓

研究費積立金 二、〇〇〇、〇〇〇圓

從業者退職手当給與基金 二、〇〇〇、〇〇〇圓

株式配當金ニ充テ得ル額(年三金量額ニ當ル)

七、九六五、〇〇九圓

追記

本計算ハ別紙附屬書製品販賣代收入豫定ニ掲記
 ヒル如ク現在ノ販賣價格ヲ基礎トシテ算出セル
 モノニシテ之レガ値上ゲヲナス場合ハ之レニ伴
 フ納税引當金ノ増加ヲ控除シタル額支純益金ハ
 増加スル次第ナリ

日本製鐵株式會社第十四回營業期收入支出豫算

收 入		比 較	
項 目	本期豫算額	前期豫算額	増 減
作 業 收 入	三八九,四七七・五三三 _四	三六七,八二九・七九四	二一,六四七・七三九 _四
製品販賣代	三四八,二七七・七六一	三二七,三六四・二八三	二〇,九一三・四八八
製品代	三二四,六八一・八八〇	三〇二,九八四・八七九	二一,六九七・〇〇一
副製品代	二三,五九五・八一	二四,三七九・四〇四	九,八二四・五九三
利子收入	三五,〇〇〇	一九八,二〇〇	一六三,二〇〇
配當金收入	一,五二五,四五七	一,六五七,九七五	一三二,五一八
雑收入	四,六三九・三一五	三,六〇九・三三六	一,〇二九・九七九
豫備收入	三五,〇〇〇・〇〇〇	三五,〇〇〇・〇〇〇	〇

二

支 出		比 較	
項 目	本期豫算額	前期豫算額	増 減
社 債 收 入	一三〇,〇〇〇・〇〇〇 _四	六九,六五〇・〇〇〇 _四	六〇,三五〇・〇〇〇 _四
(發行回次名義に依り積立置ス)	一三〇,〇〇〇・〇〇〇	六九,六五〇・〇〇〇	六〇,三五〇・〇〇〇
株式拂込金	三五〇,四四七・五〇	三五〇,〇〇〇・七五〇	四四七・五〇
第三回拂込金	三五〇,四四七・五〇	三五〇,〇〇〇・七五〇	四四七・五〇
借入金		一一〇,〇〇〇・〇〇〇	一一〇,〇〇〇・〇〇〇
借入金		一一〇,〇〇〇・〇〇〇	一一〇,〇〇〇・〇〇〇
收入合計	五五四,五二二・二八三	四八四,五二二・五五〇 _四	六九,九九七・七三三 _九

項	目	本期		前期		比較	
		直接支出額	分担額	直接支出額	分担額	増	減
既設作業所 追加費	起業費	二九,四六〇.四七一	六,二七二.九三二	二五,七三三.三九三	一五,一九六.二六六		二六,三三九.二八三
	八幡製鉄所	三,一五二.一八五	二,九八五.七二四	二四,五三六.八九九	三九,七七一.五五		一五,二三四.一五六
	輪西製鉄所	二,四五二.三五九	四,一四九.〇三	一一,八六六.一六一	二,五三三.三三三		一一,六五七.六二
	釜石製鉄所	八,三六九.九六	一一,〇九.五	九,四八〇.九一	一一,五四六.八		一六七.三七七
	富士製鉄所	四,〇二六.八三二	一,九八八.五八五	六,〇〇八.四〇七	九,一六九.五五		三,一六〇.六四三
	大阪製鉄所	三,二四三.四八		三,四四三.四八	四,〇〇〇.〇〇		八六,三五二
	廣畑製鉄所	一六九.〇〇〇		一六九.〇〇〇	八,一〇〇.〇〇		六四一.二〇〇
	兼三浦製鉄所	三,五〇〇		三,五〇〇			
	本店	一,四八三.三一		一,九三三.一三一	二,五五三.五五		六三三.三六二
	新製鉄工場 備	八八,九〇九.二八六	三,二八七.三〇八	九二,二九六.五九四	一〇,三一九.六二一	一〇,九六三.五〇	一〇,九九五.一二七

項	目	本期		前期		比較	
		直接支出額	分担額	直接支出額	分担額	増	減
豫備費	輪西新工場	三三,七八九.九五四	一九〇〇.〇〇〇	三五,六八九.九五四	四,一四九.五五三		五八.五四六
	廣畑工場	三九,五三九.六八八	一〇,三九三.九三	四〇,五六九.〇八一	四九,七三〇.八九九		九,六一一.八一八
	清津工場	一五,五八九.六〇四	三四七.八一五	一五,九三七.四九	一一,九六五.三六	三,九七三.一五九	
	出資金	九,〇〇〇.〇〇〇		九,〇〇〇.〇〇〇			
	投資	一三,八六三.五〇		一三,八六二.五〇〇	一六,五四一.〇〇〇		三,六七八.五〇〇
	出資金	一三,八六二.五〇〇		一三,八六二.五〇〇	一六,五四一.〇〇〇		三,六七八.五〇〇
	日鉄鐵業株式會社	(第二回拂込) 六,七三七.五〇		六,七三七.五〇			
	朝鮮マクサイト 開採株式會社	(第二回拂込) 三,五〇〇.〇〇		三,五〇〇.〇〇			
	長崎鐵業株式會社	(第二回拂込) 二五,〇〇〇.〇〇		二五,〇〇〇.〇〇			
	出資金	(第二回拂込) 五,〇〇〇.〇〇		五,〇〇〇.〇〇			

北海通開港株式會社	(第二回拂込)
出資金	七五、〇〇〇
鐵鋼材販賣株式會社	五二五、〇〇〇
茂山鉄鉋開採株式會社	六、三五〇、〇〇〇
出資金	三一六、〇〇〇
大冶方面滿鉄山經營特別勘定貸付金	三、〇〇〇、〇〇〇
日鉄鉋業株式會社	二、四〇〇、〇〇〇
出資金	六、三三〇、〇〇〇
原 料 費	三七三、九八〇、八七〇
勞 力 費	三一七、〇八三、三五三
重役報酬及賞與	五、六六〇、八一九
俸給及諸給	一、〇六三、〇六七
	二、九五四、六三三

項	目	本期			前期豫算額		比較ノ差	
		本科目 直接支出額	作業費 分回額	計		増	減	
事務費		六四三、五二四	△ 二〇、四〇一	六三三、一二三	四四六、一五三	一七六、九七〇		
旅費		三六九、〇九八	△ 二、五七	二六六、五二一	三〇二、二五二	三五、九一一		
雜用原料費		七七、一八六、九五	△ 一、一六三、六四五	六五五、五五〇	七、一七七、一三	六二二、〇六三		
材料費		一一四、〇九六、三	△ 三、三三〇、八〇六	八三九、八二六	七三七、四八八、四	一、〇〇三、九三二		
器具費		一、六一七、八六三	△ 六一、三九六	一、五五六、五七六	二、四二九、四六七	八七二、八九一		
移送費		五八二、〇七七八	△ 四六三、五七三	五、三三七、二五	四、九二六、七二七	四三〇、四八八		
固定資産維持修理費		六、六七、一五三三	△ 六三、八四一	六六、〇七九一	五、〇六五、九七	一、五四一、七二四		
電気費		二、六五七、七八		三、九五七、八八八	三、一八八、九七四	五二二、一八六		
用水費		三五、四三〇		三五、四三〇	四四七、〇七	九二七七		
交際費		七、七三〇、〇〇		七、七三〇、〇〇	七五九、〇〇	一三〇、〇〇		
約泰給費		一四、二八、二三		一四、二八、二三	三三、一一一	七、一一二		

[illegible]

項	目	本科 直接支出額	作業費 分担額	計	前期 豫算額	増	比較 差
増資諸費	應召從業者 補助費	一、五〇一・八〇		一、五〇一・八〇	一、四四七・〇〇	五四八・〇〇	
増資諸費	第三回拂込金 取扱諸費	三三三・七五		三三三・七五	三三三・七五		
豫備費		三五、〇〇〇・〇〇		三五、〇〇〇・〇〇	三五、〇〇〇・〇〇		
借入金償還	借入金償還	〇		〇	一三、〇〇〇・〇〇		一三、〇〇〇・〇〇
支出合計		五、二三八・六三		五、二三八・六三	四、九七五・二九	一、四七九・三三	

豫定損益計算書

二五

損 失	金 額	利 益	金 額
製品及半製品原價	282,880,027	製品及半製品賣上高	548,277,761
運 送 費	13,851,373	製品及半製品現在高(增加高)	2,191,661
本 店 經 費	2,579,761	受 入 利 息	35,000
鋼材統制機關酬出金	13,600,000	配 當 金 收 入	1,525,457
納 稅 引 當 金	2,100,000	雜 收 入	752,300
支 拂 利 息	7,040,000		
社 債 取 扱 諸 費	2,345,000		
增 資 諸 費	223,775		
時 局 關 係 費	106,200		
小 計	312,485,136		
固 定 資 產 減 價 償 却	27,702,034		
當 期 純 益 金	12,595,009		
合 計	352,782,179		352,782,179

